

RI検査を受けられる方へ

★この書面はご自身で保管し、検査当日お持ちください★

検査の有用性

RI検査（核医学検査）は、放射性医薬品（ガンマ線を出す検査薬）を静脈注射するなどして、それが体内の特定の臓器に集積する様子を撮影することにより、機能や病態を知ることができます。放射線を利用するため被ばく（医療被ばく）がありますが、この被ばくの不利益よりも診断の有益性の方が上回ると判断したときに実施されます。

医療被ばくの影響

皮膚などに影響を及ぼす確定的影響（組織反応）と癌化や遺伝などに影響を及ぼす確率的影響があります。前者は投与量を抑えることで防ぐことができます。後者は標準的に使用される投与量において今日まで確認されていません。また、放射線によって傷ついた細胞はからだの修復機能により修復されるため、これらの障害が起こることは少ないと考えられています。

放射線防護の最適化

検査の内容や体格の差、年齢、部位などにより被ばくの差は生じますが、当院では、標準的な投与量(DRLs2015)を参考にして、それと同等以下になるように最適化を図っています。

検査/線量	当院投与量 (MBq)	標準的な投与量 (MBq)
脳血流シンチ	199	200
心筋シンチ (テクネ)	1036	1200
骨シンチ	740	950
ガリウムシンチ	111	200

※標準的な投与量とは、DRL s 2015 の投与量で RI 検査における基準投与量です。

放射性医薬品を使用する検査に関する同意

東京高輪病院院長 殿

紹介元医療機関名 _____

説明医師 _____

私は、放射性医薬品を使用する検査に関する説明書に基づき、上記医師から十分説明を受けるとともに、質問する機会を得たことで、予定されている検査について理解しました。よって、今回の検査を受けることに同意いたします。

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

検査予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

患者番号 _____

患者氏名 _____

代理人氏名 _____ (続柄: _____)